

米奥小だより

令和8年7月16日(木)

No.15

米奥小学校 校長 北添 忠

○校内水泳大会

1学期最後の1週間となり、子どもたちは夏休みへの期待を大きくしていることと思います。そんな中、7月14日(火)に校内水泳大会が行われました。梅雨が明け、強い日差しが降りそそぐ中行われた水泳大会でしたが、子どもたちは元気に泳ぎ、遊び、今年最後のプールを満喫していました。3年生以上のクロールや平泳ぎについてはタイムを計測し、小学校体育連盟へ記録を登録します。かつては、窪川地区小学校水泳記録会など、複数の学校が集まっての水泳記録会が行われていましたが、今は、各校で行い、記録を登録するのが一般的になりました。1.2年生については、小プールで、ビート板を使った25mのバタ足に挑戦しました。バタ足が上手になると、3年生になってクロールをやりはじめたとき、早く泳げるようになります。今年は、1.2年生全員が、顔を水の中に入れ、時々息継ぎをしながら25mを泳ぎ切ることができました。顔を水の中に入れると姿勢が良くなり、水の抵抗も小さくなるのか、顔を水に入れていない時よりも早く進むのが見て取れました。最後に、全員で着衣水泳を行いました。服を着たまま水に入ると泳ぎにくくなります。そんな時に身を守る方法として、服の中に空気を入れて浮く方法やペットボトルをラッコのように抱きかかえて浮く方法などを試しました。

松葉川地区には四万十川の恵みがたくさんあります。夏は、子どもたちにとっては水遊びが一番



の楽しみだと思います。学校の下の河原で遊んだり、一斗俵沈下橋から飛び込んだり、夏ならではの遊びがたくさんあります。長い夏休みには、保護者など大人の人と一緒に行くことを守って、四万十川などでの水遊びを楽しんでほしいと思っています。

○夏祭りに向けて、踊り・相撲練習

7月25日(土)には、「沈下橋夏祭り in 松葉川」が開催されます。それに向けて、1回目の踊り・相撲練習が7月15日(水)の午後6時から体育館で行われました。



踊りも相撲も指導してくれる方々は地域の方です。踊りは「窪川音頭」「こっぱ」「こりゃせ」を練習しました。上級生はこれまで何度も経験しているだけあって、覚えていましたが、低学年の児童はまわりの人の

動きを見ながら頑張っていました。相撲は体育館にあるサークルを土俵に見立てて練習しました。1年生から順番に学年ごとに対戦しました。男女混合での対戦でしたが、みんないい勝負で、見たえのある練習となりました。

○けがをしたスズメ

約2週間前に、米奥小学校の職員が、自宅近くで巣から落ちてけがをした雛鳥を見つけ保護しました。野鳥の捕獲は法律で禁止されていますが、けがをした鳥の保護は認められており、餌を与えて育てています。その鳥が子どもたちの動物愛護意識の向上に役立っています。休み時間になると子どもたちが職員室にきて、ピンセットで餌をあげたりしています。今後、自然にもどすことを職員は考えていますが、片足が使えない状態なので、心配しているところです。しばらくは、子どもたちの心を癒してくれることと思います。

